

公表

事業所における自己評価表（放課後等デイサービス）

○事業所名	クローバーの森				
○保護者評価実施期間	8年 1月 5日		～	8年 1月 23日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名	
○従業者評価実施期間	8年 1月 5日		～	8年 1月 23日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名	
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 9日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	前月に活動についての話し合いの機会を持ち、子どもたちが楽しく過ごせるよう心がけている。クッキングなど体験を重視したプログラムを取り入れるようにしている。	長期休みなどは特にイベントを多く入れるようにし、さまざまな体験活動ができるように配慮してプログラムを組んでいる。また所内で対応できない場合は外部の講師もお呼びして対応している。	個々の現状を踏まえ、様々な活動ができるように企画していく。そのためにはマンネリ化しないように研修や施設見学等で知識を得たり、参考にしたりしていく。
2	全職員でのフィードバックの機会を持つようにしている。	アルバイトも含め全員で話し合う機会を設け、情報を共有し同じ気持ちで関わるようにしている。	今後も日々の情報交換だけではなく、全職員（アルバイトも含む）を継続したり「報連相ノート」を活用したりして児童の共通理解を図り、同じ対応、支援ができるようにする。
3	スキルアップに対する姿勢	研修に積極的に参加したり、他事業所を見学したりし新たな支援に取り組めるような柔軟な姿勢を持つ湯にしている。	定期的にマニュアル及び現状を確認し、さらに安全な送迎に配慮していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢差に考慮したプログラムになっているかが課題である。	小学生が多いため活動内容が偏らないように発達や年齢に応じたプログラムの工夫が課題である。	中学生でもできそうな活動は、無理強いせずに誘うようにする。また中学生向けの活動に関しても引き続き探っていく。
2	職員の専門性	全員が保育士の資格所有者であるため「障害分野」の経験が少ない。	外部研修、内部研修を通じてスキルアップ向上に努める。
3	PDCAサイクルの活用	振り返りやフィードバックは行っているが、実際実践に繋がられているかが課題。	今後は所内研修の一環として様々な場面を捉え、研修の一環として話し合う機会を作る。またスーパーバイズの活用を試みる。